

5月のできごと

安心安全のために

5月8日、事件や事故を未然に防ぎ、子どもたちの安全確保を図ろうとする「子どもサポート隊」が、今年度最初の活動を実施。小中学生の下校時間に合わせ、下校指導などを行いました。

「子どもたちを起こる危険が少しでも減ることに繋がれば」と話すサポート隊の皆さん。安心、安全な環境作りの大きな力となっています。



毎年の積み重ね

5月8日、あかね生き生きクラブ（編田久乃会長）から安平町社会福祉協議会（荒木徹会長）へ車イスが寄贈されました。

廃品回収などの収益で車イスを購入し、今年で14回目。

寄贈を受けた荒木会長は「毎年の寄贈に感謝している。これからも元気に社会貢献をしていただきたい」と感謝の言葉を贈りました。

新たな魅力加わる

鉄道資料館の定例会館が始まった5月8日、町内在住の長谷川順一さんから鉄道ジオラマが寄贈されました。

約3年の月日をかけ作り上げたジオラマには、牧場や畑、丘といった安平町らしさが表現された力作。「ジオラマは、目線を低くして見るとリアルさが増して面白い。多くの人に喜んで貰えたら」と話してくれました。

皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



甘み上々 初出荷

5月10日、野菜出荷場に3農家が生産したアサヒメロン（63箱）が持ち込まれ、初出荷を祝いセレモニーが行われました。

翌日の札幌市中央卸売市場では、「秀」1箱15万円と生産者の努力も実る高値。

アサヒメロンは、秋頃までその味覚を味わうことができ、贈り物に大変喜ばれる特産品のひとつで、ふるさと納税のお礼の品としても全国にお届けしています。



重要施策に対する関心は

5月10日から20日まで町内各所で10回にわたり、町が進める重要施策に関する町民説明会が開催され、208名が参加しました。

大型事業の実施にあたり、追分公民館での1回目の説明会には60名を超える方が集まり、町民として安平町の将来を考える率直な意見などから関心の高さが伺えました。

同説明会は、6月にも開催されます。（詳細は17ページをご覧ください。）

